

## 令和 5 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	44	学校名	焼津水産高等学校	記載者	向井 稔
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	「基礎的学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」等を備えた人材の育成	<b>【教務課】</b> ・「授業が理解できた」と答える生徒8割以上 ・一日の家庭学習時間(平日)60分以上の生徒8割以上 ・到達度テストの単元正答率8割以上 ・月1回以上、小テストの実施及び表彰制度の実施	B	B	家庭学習の課題対策。達成状況には数字を記入し判断しやすいようにしてほしい。授業の内容が理解できるということは、先生方の教え方が良いということだと思いますが、家庭学習については参考までですが、令和5年度家庭が収集時間は107分でした。もう少しバランスの良い学習スケジュールを考える必要があると思います。学習時間の安定化を望む。
		<b>【企画研修課】</b> ・公開授業週間 年1回以上 ・同集団の授業評価年2回 ・授業研究グループによる授業実践、相互評価の実施 ・ICT活用等の校内研修年2回実施	A	A	企画研修が全て実施できたことは、とても良いことでした。AI、DXリテラシーの向上は今後必要となると思われる。
		<b>【進路課】</b> ・全学年を対象進路ガイダンス 年2回以上実施 ・全生徒を対象 進路希望調査個別面談の実施 ・就職/進学者の追跡調査の実施 在校生への還元	B	B	就職、進学者の追跡調査は在校生にとって参考になるので、ぜひやってほしいです。
		<b>【生徒課】</b> ・水高カードの発行枚数 前年比-10% ・進んで挨拶ができる生徒9割以上	B	B	校舎建て替えもあったなか、重大事故0件はA評価でよいと思います。

様式第5号

		<p>【保健課・各学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習、授業における重大事故発生件数0件</li> <li>・学期ごと、施設・設備等の安全点検を実施</li> </ul>	B	B	メンタル強化、状態把握が必要。
イ	将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」の育成	<p>【進路課・各学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生対象インターンシップ参加率 100%</li> <li>・デュアルシステムによる企業研修参加生徒数 前年比+10%</li> <li>・3年生 進路実現 100%</li> <li>・学科関連企業等への就職、進学率 85%以上</li> </ul>	B	B	
ウ	地域の発展を見据えて、全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期海外留学等の派遣者数 1人以上(継続)</li> </ul>	A	A	グローバル人材の育成はもっと必要なことだと思います。日本人の世界共通とされる英語力は中国、韓国、台湾、ベトナムよりも低いのが現状です。積極的な支援は不可欠なことです。
エ	「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む	<p>【生徒課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入生徒の割合100%</li> <li>・「自分が成長した」と実感できる生徒 8割以上</li> <li>・生徒による主体的な企画、運営が行われている</li> <li>・社会貢献活動等に生徒が積極的に参加している</li> </ul>	B	B	成長の自己認識が80%弱に終わり残念。B評価になるも、Aに近いと思います。
		<p>【図書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒貸出冊数 3冊以上(年間一人平均)</li> <li>・朝読書の推奨</li> <li>・図書委員会によるイベントの企画、開催年2回以上</li> </ul>	B	B	

オ	健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成	<b>【総務課】</b> ・防災、津波避難訓練 年2回実施 ・「災害時に適切な行動がとれる」と答える生徒8割以上	B	A	適切な行動 96.6%と高レベルにあることは評価できる。A評価でよいと思います。
		<b>【保健課】</b> ・保健だより発行 年6回以上 ・薬学講座、熱中症予防講座の実施	A	A	
		<b>【相談室】</b> ・「気軽に相談できる教職員がいる」と答える生徒8割以上 ・担任、学年、保健室、相談室と連携したサポート会議の開催 ・SC(スクールカウンセラー)の活用、外部専門機関との連携強化	A	A	生徒の性格もそれぞれなので8割以上が相談できるのなら、十分ではないでしょうか。
カ	学校経営基盤確立のための諸施策の推進	<b>【教務課・総務課】</b> ・学校HP、学校公開、マスメディア等を活用した情報発信の実践 ・SNS等を活用した保護者との連絡体制の研究、PTAの広報広聴活動の充実	A	A	十分結果が出ていると思う。
		<b>【各学科】</b> ・地域や異校種と積極的な交流の実施 ・企業や大学等と連携した教育プログラムの開発	A	A	
		<b>【管理職】</b> ・法令順守、誇りと使命感の涵養が図られている ・組織全体で業務の効率化、働きやすい職場づくりに取り組んでいる	B	B	

様式第5号

		<p><b>【事務室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・適正で効率的な予算執行がなされている</li><li>・施設設備の定期点検、必要に応じた修繕がなされている</li></ul>	A	A	全てにおいて予定通りに進行できてよかったと思います。
--	--	--	---	---	----------------------------